

# 令和5年度 学校経営方針

調布市立調布中学校  
校長 梶山 剛史

【目指す学校】「皆の笑顔が輝く、活気と潤いのある学校」←「かかわりを大切に」

豊かな自然や様々な人とのかかわりの中で、一人一人が輝き、笑顔と明るい声があふれる、明日また来たい学校

【メッセージ】「生徒のびのび、保護者安心、地域自慢、教職員いきいき」



【目指す生徒像】＝学校の教育目標

- ◎自ら学び深く考えよう
- ◎身体を鍛えたくましく生きよう
- ◎礼儀正しく思いやりの心をもとう
- ◎勤労を重んじ進んで奉仕しよう



【教育目標を達成するための視点と具体的方策】 ◎今年度の重点

(1) 学習指導…磨き合い、伝え合い、学び合い＝「分かる・できる喜びが味わえる学校」

- 学習目標の明確化
- 基礎・基本の確実な定着
- 週案等による計画的な授業実践
- ◎主体的問題(発見)解決能力の育成(学び合い)…主体的・対話的で深い学びを目指す
- 生徒・保護者による授業評価(2回)の実施
- 授業改善推進プランの実践と検証
- 指導法や指導形態の工夫(少人数指導)
- 各種学力調査の結果の分析と授業改善
- TGGでの学びを通じた英語の学習意欲向上
- 指導と評価の一体化
- 体力向上
- 情報機器の活用
- 学校地域協働本部と連携した各種検定試験・補習教室等の実施
- ◎特別支援教育の充実(固定級「8組」と巡回指導教室との生徒及び教員の交流・連携)

(2) 生活指導・進路指導…認め合い、心の通い合い、自分との向き合い＝「笑顔のあいさつと思いやり溢れる学校」

- 思いやりキャンペーンや命と心の教育の充実
- 望ましい勤労観・職業観の育成
- ◎環境による教育(清掃、掲示、挨拶、礼儀、朝読書、笑顔、教職員のチームワーク)
- ◎人とのかかわりから自分も相手も大切に(人権を尊重、いじめは許さない、声かけ)
- ◎生徒の主体性や特性を理解した指導
- ◎教師の基準を明確化し生徒の可能性を信じる
- 集団生活のルール徹底と規範意識の育成
- 自主、自律、基本的生活習慣の徹底
- ◎温かな生徒理解に基づき、課題を早期に発見し、全教職員の共通理解のもとに指導

(3) 学校運営…支え合い、声のかけ合い、話し合い＝「自らの役割を意識しチームで動く学校」

- ◎(全職員)みんなで(全生徒)みんなを育てていく…笑顔のチーム(仲間、家族)調布中!
- 保護者、地域の信頼に応える学年(級)経営(温かさ厳しさのバランス、認め褒め伸ばす)
- 公務員としての自覚をもち責任を果たす(サービスの厳正、個人情報保護、人権尊重)
- 経営参画意識とライフワークバランス
- ◎心身の健康を大切にしてサービス事故0に
- 「報・連・相・確」の徹底と迅速な対応
- 魅力ある学校づくりの継続(不登校対策)

(4) 特別活動・その他…かかわり合い、出会い、励まし合い＝「様々な人とのかかわりを深める学校」

- ◎集団の中での役割意識と一人一人の活躍の場所(自分の居場所、自尊感情、達成感)
- ◎生徒会活動・部活動での人とかわる活動の充実(協力や信頼の気持ち、社会性育成)
- 奉仕、ボランティア活動の充実
- 親身の相談(いつでも職員室、校長室にどうぞ!)
- 学校公開と情報発信「見える学校」
- ステップルームの活用
- ◎ショートディスカッション(月2回)

(5) 研究・研修…学び合い、高め合い、見せ合い＝「教師自らが学び続け高め合う学校」

- ◎校内研究やOJTの充実(授業を通じた研究の継続と主体的な研修による学び合い)
- ◎調中研、研究発表会、教師道場、管外出張等への積極的な参加により専門性向上

